



《ブナ林をまもり、つくり、次代につなぐ》

先日、不動奥山のブナ林に行く機会がありました。

ブナ林…と聞いて思い浮かべるのが十日町市松之山の美人林といった塩梅なので、一度は行って見たかった不動奥山のブナ林に行くことができ大変うれしく思いました。

美人林はその名のとおり、すらっとした木姿(樹勢)で知られていますが、不動のブナ林は一本一本がどれもこれも個性豊かな顔をしています。

美人林に負けないような立姿もあれば、ちょっとくねくねとひねくれたヤツもいて、いつまで見ても飽きません。

このブナ林はいつからここにあるのでしょうか？

これからどんな森になっていくのでしょうか？

今、不動地区のみなさんがこのブナ林を“まもり、つくり、次代につなぐ”様々な取り組みを行っています。

ブナ林の中を湧水が流れ出ていましたが、この水が日本海に流れ出て海の幸を育てているように、私たちの暮らしも潤してくれていると思うと、これが“名立をまもり、つくり、次代につなぐ”ことだと感じました。



《2022 ふるさと名立・夏まつり 実施決定！！》 ～名立をまもり、名立をつくり、次代につなぐ夏まつり～

“名立まつり”については新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、この2年間中止とし、代替事業として2020年には千羽鶴プロジェクト、2021年には七夕・名立の夏まつり・聖火リレージョイントイベントを実施してきました。

しかし、残念ながら新型コロナウイルス感染症が依然として終息の兆しが見えないことから、昨年度、多くの関係者からご参画いただき設置した名立まつり検討委員会で「今後の名立まつりのあり方」について4回にわたりご協議いただきました。

その結果、「今後も続くと思われるコロナ禍における新たな名立まつりのあり方」として、新しい生活様式を踏まえ、会場や時間等を分散する新しい名立まつりの方向性をご提案いただきました。

そのご提案を踏まえ、5月26日に開催した名立まつり検討委員会後の実行委員会で令和4年度は次頁案のとおり実施することで現在準備を進めているところです。

ただ、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況に伴う国、県、市の対応等を注視しながらの“実施を前提”とした準備になることをご理解いただきますとともに、今後なにかとみなさんにはご支援をお願いすることになるかと思っておりますので、よろしくお願ひします。

《2022 ふるさと名立・夏まつり 実施計画（案）》

□目的

すべての世代と地域が交流し、一人ひとりが名立に暮らす喜びと誇りを持ち、いつまでもにぎわいと活気のある名立まつり

□内容(内容、会場、日時等)

【前夜祭】

“前夜祭”とありますが、本まつりの“前の夜”ということではなく、本まつりの前(8月上旬～中旬)に4地区でそれぞれの地区の特色、歴史、文化、伝統等を活かした内容で、各地区が主体的に実施します。

ご自分の地区はもちろんですが、そのほかの地区の“夏まつり”にも参加して、みんなで前夜祭を盛り上げましょう！

下記は現段階での計画です。

7月中旬には最終案をお知らせできると思いますので、どうぞ楽しみに！！



◎北部地区

名立地区公民館グラウンドでキャンプファイヤーの周りでフォークダンスや盆踊り ほか

◎下名立地区

宝田小学校グラウンドで盆踊り ほか

◎上名立地区

上名立地区分館グラウンドとろばた館駐車場でフリーマーケット、縁日、子ども花火、綿あめ ほか

◎不動地区

8月15日(月)16日(火)、不動ふるさと夏まつりを開催

…盆踊り(上写真は2021年)、子ども花火、川遊び、ブナ林散策、名立太鼓、大花火大会 ほか

【本まつり】8月20日(土)17:00～



2018年

名立まつり

“夕陽にむかってパチを打つ”



五穀豊穡を願う《山幸》の舞

本まつりはうみてらす名立の芝生広場を会場とし、猛暑を避けるとともに、名立のビューポイントである夕陽の中でイベントを楽しんでいただくため、夕刻からの開始とします。内容は悪魔退散や五穀豊穡を願う神楽(右写真)のほか、

名立太鼓(写真上2018年)、少年名立太鼓、名中ソーランほかを予定しています。

【海上花火大会】8月20日(土)20:00～

2022夏まつりのフィナーレは夏の夜空に3年ぶりに花火が上がります！！

海上花火大会についてはこれまでも名立区の多くのみなさんや事業所のみなさんからのご支援(寄付)で実施していました。

今回もお一人おひとりのいろいろな願いや思いを花火に込めて打ち上げてみませんか？

申込方法等についてはすでに全世帯にお配りしてあります「お願い」と申込書をご覧ください。

不明な点は2022夏まつり実行委員会事務局(名立まちづくり協議会)までお問い合わせください。

2022
夏まつり

ふるさと名立

名立をまもり、
名立をつくり、
明日へつなぐ

3年ぶりの
大イベント!!

海上花火大会

たくさんの花火で
夜空を彩るために
ご協賛をお願いします。

みんなで打ち上げよう!

名立の夜空に

おっっっっっきな花を

◆詳しくは裏面を
ご覧ください←

令和4年

8月20日 土

8月上旬～中旬 前夜祭(4地区)
8月20日夕刻～ 本まつり(うみでらす名立)
20:00～ 海上花火大会

【主催】2022ふるさと名立・夏まつり実行委員会
【お問い合わせ】025-537-2182

《江野神社祇園祭》

～名立の伝統をまもり、つくり、次代につなぐ～

このように2年間中止だった市内のあちこちの地域の夏まつりが3年ぶりに開催…というニュースが届いています。

そうした中ですが、7月7日からの江野神社祇園祭は今年も規模を縮小しての実施となりました。

江野神社祇園祭は300年を超える伝統を誇る夏まつりで、旧名立町当時に無形民族文化財に指定され、現在は上越市の無形民俗文化財の指定を受けています。

名立大町に生まれ育った男子(今は女子も参加できるようになっていますが…)は小学生のときに榊を片手に若い衆に交じりながらお神輿とともにワッショイワッショイと声をかけながら一日中走り回ったものです。

そして、自分もいつかはカッコいいオニチャンみたいに山車を引き回すんだと思ったものです。

でも、今の小学6年生はそうした体験を3年間経験することなく、来年から中学生になってしまうのです。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響でこうしたことは江野神社祇園祭だけでなく、いろんなところで起きていることなのでしょう。

大げさに言えば伝統や文化をどのように伝えていけばいいのか…ということにもなっています。

そうしたことで江野神社と名立大町自治会は祇園祭で使用される各町内の山車の馬簾(バレン)や飾りを今年も名立地区公民館で7月3日(日)午後から17日(日)午前まで展示(写真は昨年の様子)することにしています。

これも今号のテーマである『伝統をまもり、つくり、次代につなぐ』なんですね。



《夢プロ・レポート⑨～上演日が変更になりました…～》

最後にお詫びです。

10月30日(日)の上演予定だった『竹田勘兵衛翁生誕230年記念顕彰事業「夢輝いて!」』は11月12日(土)に変更になりました(*会場は名立地区公民館体育館で変更ありません)。

上演まで残り4ヶ月半となり、毎週水曜日16:30からの小学生及び18:30からの一般の稽古にも熱が入ってきています。

なお、上演に必要な舞台背景図の制作には名立中学校文化部のみなさんからも協力していただくことになっています。

まだまだ上演に向けていろんな準備がありますので、なんでもご協力いただける方は事務局までお知らせください。

よろしく願います。



【編集・発行】 名立まちづくり協議会 会長 三浦 元二
上越市名立区名立大町 200-1(名立地区公民館内)
担当:金子 僚子、石井 三千代
☎:025-537-2182 FAX:025-546-7041
✉: matikyo-nadati@bz04.plala.or.jp
ホームページ URL: nagatatsu.com



まち協 HP